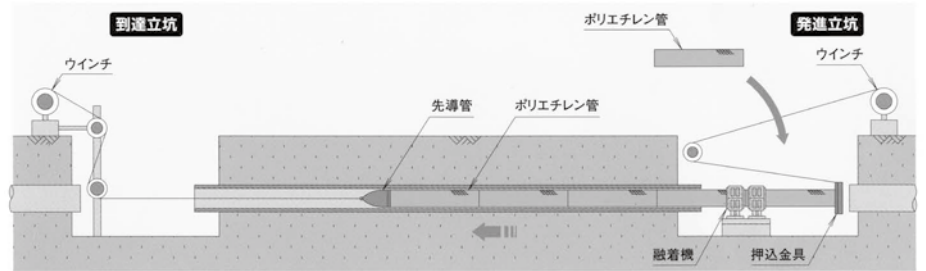


リニューアル工法

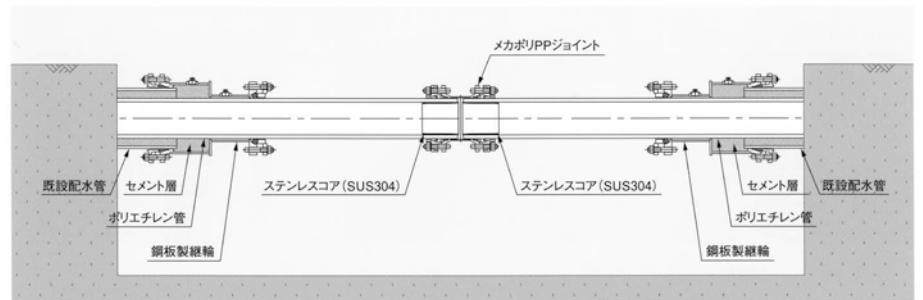
パイプリバース工法（管更生工法）

特長

- 既設管をクリーニングした後、内部にやや口径の小さいポリエチレン管を挿入し、既設管内面とポリエチレン管との間にセメントミルクを圧入する工法です。
 - ポリエチレン管は材質的に安定しており、水質上はもちろん、漏水、赤水、電食問題も解消します。
 - 既設管、セメント層、ポリエチレン管の3重構造で、既設管の強度に問題がある場合でも使用でき、施工後の強度が向上します。
 - 既設管の管種に限定されず使用できます。
 - 工事は容易で、掘削面積が小さいので、交通渋滞や騒音も最小限で済みます。
 - 工期が短く、工費も新管布設より経済的です。
 - 水道配水用ポリエチレン管を挿入することにより、耐震管路に甦ります。
- ポリエチレン管挿入略図（断面図）



■パイプリバース工事立坑内標準配管図



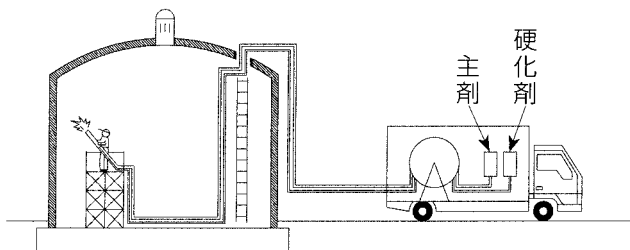
リニューアル工法

WICCビーバー工法 （コンクリート水槽防食工法）

特長

- 水道施設におけるコンクリート構造物の、表面の中性化・腐食の影響を防止する塗装工法です。
- 水中接着剤とJWWA K 138規格又はJWWA K 143規格に合格した上塗り塗料の組み合わせにより、湿潤性の高いコンクリート面に直接塗装が可能です。
- コンクリートの乾燥を待たずに、プライマー塗装ができ、上塗り材料の硬化も早く、既設構造物の補修など短時間での施工を要求される工事に適しています。
- 水道水への安全性も万全です。

■特殊ライニング車による塗装図



新工法 NR工法

特長

- 日本水道協会 JWWA K143適合
- 湿潤面接着性に優れています。
- 耐水性及び耐久性に優れています。
- 塗装作業性に優れています。

水系エポキシ素地調整材を使用し、巣穴や凸凹の多い下地や新設コンクリートに適した工法です。

工程	材料名	標準使用量 (kg/m ²)	塗布間隔 (20℃)	塗布方法
素地調整	アルプロン E-1000	1.0	12時間 ～7日	金ゴテ
上塗り (1回目)	アルプロン L-7070	0.7	24時間 ～7日	ゴムベラ・ 金ゴテ
上塗り (2回目)	ニューアルプ ランナー L	0.35	-	ローラー・ 刷毛